



**News Letter 2016 No.2**

日本観光ホスピタリティ教育学会学会報

通巻 第44号 発行日: 2016年12月30日

◇学会事務局: 〒181-8612 東京都三鷹市下連雀5-4-1  
杏林大学外国語学部内 Email: jimujsthe.org  
Tel 0422-47-8000 (代表) Fax 0422-47-8077 (共用)

◇学会 Web: <http://jsthe.org>

◇編集・発行人: 野口洋平 (noguchi@ks.kyorin-u.ac.jp)

## 【2016年度全国大会のご案内】第一報

今年度の全国大会は、2017年2月25日(土)と2月26日(日)の2日間にわたり、神戸山手大学にて実施することが決定いたしました。テーマは「観光立国ニッポン 訪日旅客4,000万人&オリパラ2020～観光ホスピタリティ教育は何をすべきか～(仮)」です。

大会プログラムの概略と研究発表の申込方法、ワークショップテーマの申込手順についてご案内申し上げます。一人でも多くの方にご参加いただけますようお願い申し上げます。なお、プログラム詳細や参加申込につきましては、1月中旬にお届けする予定です。

### 1. 大会概要

- (1) 開催日: 2017年2月25日(土)・26日(日)
- (2) 開催地: 神戸山手大学  
〒650-0006 神戸市中央区諏訪山町3-1

#### (3) プログラム概要

[1日目 2月25日(土)]

- 午前中 理事会
- 12:30 受付開始
- 13:00 開会式
- 13:05 研究・教育実践発表
- 14:50 基調講演
- 16:00 シンポジウム
- 18:10 懇親会

[2日目 2月26日(日)]

- 9:15～ 受付
- 9:30 ワークショップ話題提供
- 10:30 ワークショップ
- 12:10 ワークショップ報告
- 12:50 閉会式 (12:55頃終了予定)

※ プログラムの内容・時間等は変更することがあります。

### 2. 研究・教育実践発表の募集について

研究・教育実践論文および教育実践報告の発表者を募集します。いずれも、会員または会員を含む連名による発表が条件です。希望される方は、学会ウェブサイトにある募集要項(全国大会様式1)と執筆要領(全国大会様式2)、応募用紙(全国大会様式3)をダウンロードご覧のうえ、応募用紙に必要事項を記入し、電子メールで2017年1月18日(水)までに、送付ください。

応募用紙を受け取り次第、大会論文執筆フォーマットをメールでお送りいたしますので、執筆要領に従って大会論文集用の原稿を作成し、2月6日(月)までに電子メールで提出していただきます。なお、発表査読は行いませんが、内容・様式に著しく問題がある場合は、発表を認めない場合があります。

また、研究発表論文集費用(5,000円)は大会当日にお支払いいただきます。

■ 発表応募締切 2017年1月18日(水) 必着

■ 発表論文完成原稿締切 2017年2月6日(月) 必着

<大会論文集担当>発表のご応募やお問い合わせ先

中村学園大学 浅岡柚美

電話: 092-851-2531 (内線540)

電子メール: [taikai@jsthe.org](mailto:taikai@jsthe.org)

※電子メールが確実です。

### 3. 大会参加費

参加費

正会員 2,000円、準会員・大学院生 1,000円

一般 3,000円、学部生無料

懇親会費

正会員・一般 4,000円、準会員・学生 3,000円

なお、基調講演およびシンポジウムは会員外も含め、どなたでも無料でご参加いただけます。(要事前申込)

### 4. 大会事務局

杏林大学 古本泰之

電話: 0422-47-8000

FAX: 0422-47-8077

電子メール: [taikai@jsthe.org](mailto:taikai@jsthe.org) ※電子メールが確実です。

## 【理事会報告】

<2016年度 第3回定例理事会>

(1) 日時: 2016年9月2日(金) 15:00～17:00

(2) 場所: 跡見学園女子大学・文京キャンパス M2601

(3) 出席者: 鈴木会長、宍戸副会長、朝倉理事、小槻理事、高橋理事、野口理事、古本理事、安島理事、難波理事、千葉幹事、永田幹事、板垣幹事、澁谷幹事(委任状1通)

(4) 議事

1) 2016-17年度活動指針

- 鈴木会長より資料に基づいて説明がありました。
  - 鈴木会長より①全国大会・総会・研究会での研究・討論、②観光教育面でのグローバル化の推進の問題提起がありました。
  - 出席者の自己紹介がありました。
  - 理事会のメンバーについて宍戸副会長から説明がありました。
  - 役割分担について確認がありました。
  - 総会の進行について説明がありました。
  - 決算報告、予算報告について古本理事から説明がありました。
- 2) 編集委員会
- メール資料に基づいて古本理事から説明がありました。
  - 巻頭論文を岡本先生が執筆されることになりました。
  - 論文の掲載はありませんでした。
  - 書評2冊が承認されました。
- 3) 広報委員会
- 野口理事より説明がありました。
  - 現在の業務として、ニューズレターの発行、ウェブサイト・Twitter・facebookの管理が報告されました。
  - 電子ジャーナルを CiNii から J-stage へと移行することとなりました。
  - 今後の必要性として、会員・大学院生の増強と、他の学会との連携や棲み分け及び差別化を図るためのキーコンセプトを提出する必要性が指摘されました。具体的には、①SNS以外の広報活動（紙媒体）の必要性、②会員のメリットの明確化、③人手の手配（役割分担）・予算措置などの体制作り、の3点が提示されました。
  - ウェブサイトの更新を素早くすること（野口理事）、大学院生や高校の教員の参加も必要であること（宍戸副会長）が付議されました。
- 4) 総務委員会
- 古本理事から説明がありました。
  - ウェブサイトの構築として、データの更新と会員に対するメーリングリストの強化を年内に解決することが報告されました。
  - 1週間以内にウェブサイトを更新させることが報告されました。
- 5) 倫理委員会
- 宍戸副会長から説明がありました。
  - 他学会の動向に従うことが確認されました。
  - 宍戸副会長から担当を決めて舵取りをしてもらうことが提案されました。
  - 査読のあり方について情報交換がされました。
- 6) 新規事業 WG 業務について  
宍戸副会長から資料に基づいて説明がありました。
- 7) 役員・委員会等の分担
- 宍戸副会長から説明がありました。
  - 各理事・役員がいずれかの委員会に所属することが承認されました。
  - 今月中に全メンバーが確定することになりました。
  - 事務局の仕事内容の振り分けを次回理事会で検討することになりました。
- 8) 研究会について
- 11月26日の理事後に行われることが決定しました。内容については、テーマを産学連携とし、鈴木会長より提示されることとなりました。
- 9) 入退会審査
- 資料に基づいて、正会員2名（佐藤美輪、牧一郎）の入会が認められました（敬称略）。
  - 審査後の会員数は167名（正会員153人、準会員10名、特別会員1団体、名誉会員3名）となりました。
- 10) その他
- 2017年2月25日（土）・26日（日）に神戸山手大学で全国大会が開催されることとなりました。テーマは11月の理事会までに鈴木会長と総務委員会が原案を練り提出することとなりました。実行委員会としても、関西の地域性を考慮した内容にすることも検討されました。
  - 観光分野の標準的なカリキュラムのあり方について考えるのはどうだろうかという提案がなされました。
- <2016年度 第4回定例理事会>
- (1) 日時：2016年11月26日（土）13:00～15:00  
(2) 場所：跡見学園女子大学・文京キャンパス  
(3) 出席者：鈴木勝会長、浅岡副会長、小槻理事、鈴木涼太郎理事、橋本理事、藤田理事、古本理事、安島理事、海老澤監事、千葉幹事、板垣幹事、澁谷幹事（委任状7通）
- (4) 議事
- 1) 2016年総会・講演会について
- 古本理事より、2016年総会の運営面・企画面での改善点について説明がありました。
  - 次回より総会を総務委員会の業務とすることが了解されました。
- 2) 第16回全国大会企画
- 鈴木会長より、大会テーマが提案されました。
  - 実践報告・シンポジウムの議題として、大学で実施されている「観光人材育成プログラム事業」が提案されました。
  - 大会テーマを「観光立国ニッポン 訪日旅客4000万人&オリパラ2020—観光ホスピタリティ教育は何をすべきか—」と協議の結果、決定されました。
  - 次回大会のプログラム・タイムテーブルを、昨年

- 度と同様のものとする事が了解されました。
  - 鈴木会長より、基調講演者の提案がされました。1番目の打診者として、国交省近畿運輸局観光部長（もしくは、次長クラス）が選ばれました。
  - 基調講演者には総論ではなく、具体的な内容に基づき講演を依頼することとなりました。
  - 実践報告・シンポジウムの登壇者について、その人選を小槻理事が行うことが了解されました。
  - 研究・教育実践報告の応募締め切りが1月13日（金）、フルペーパー締切が2月6日（月）に決まりました。
  - ワークショップのテーマが「ゼミナール教育」「アクティブラーニング」「インターンシップ」に決定しました。
  - 参加費を前回大会と同額とすることが了解されました。金額は正会員 2,000 円、一般 3,000 円、準会員・大学院生 1,000 円です。また、「基調講演・実践報告・シンポジウム」を無料、事前申し込み制の一般公開とします。懇親会費は正会員・一般 4,000 円、準会員・学生 3,000 円です。
  - 鈴木会長より次回大会での広報体制の強化について提案がありました。広報委員会と協議の上、進めていきます。他方、開催校である神戸山手大学の通常の広報システム（メディア関係など）を活用することとなりました。
  - 研究発表・教育実践報告 1 件あたりの金額を 5,000 円とすることが確認されました。
  - 学生補助スタッフについて、神戸山手大学や日本観光研究学会関西支部の学生に協力を依頼することとなりました。
  - 古本理事より、今後のスケジュールの説明があり、12月上旬に第一報（開催日程、教育実践報告申し込み締切日、フルペーパー締切日）を発送することが確認されました。
  - 小槻理事が実行委員長に選任されました。
  - 全国大会事務局と実行委員の人選が行われました。朝倉理事、鈴木（涼）理事、廣岡理事、峯俊理事、板垣幹事、大島幹事、澁谷幹事です。
- 3) 編集委員会報告
- 浅岡副会長より、第 10 号の刊行計画について説明がありました。
  - 岡本伸之先生に依頼した原稿を、先生の希望により特別寄稿とすることとなりました。
- 4) 総務委員会
- 古本理事より総務委員会の業務分担および年度内の課題について説明がありました。
- 5) 報委員会
- 古本理事より、ニューズレターの発行、広報業務、今後の課題、必要な対応について説明がありました。

- 6) 入退会審査
- 資料に基づいて、正会員 1 名（相澤英雄氏）の入会が認められました。
  - 審査後の会員数は 168 名（正会員 154 名、準会員 10 名、特別会員 1 団体、名誉会員 3 名）となりました。
- 7) その他
- 次回理事会の開催が 1 月 28 日（土）に決定しました。なお、会場として東海大学での開催を検討することになりました。
  - その後の調整により、跡見学園女子大学文京キャンパスでの開催となりました（編集・発行人）
- (以上)

## 【機関誌編集委員会】

機関誌『観光ホスピタリティ教育』第 11 号

＜投稿原稿募集のお知らせ＞

日本観光ホスピタリティ教育学会の機関誌『観光ホスピタリティ教育（英語名：Annals of Tourism & Hospitality Education）』の投稿原稿を募集いたします。

観光ホスピタリティ分野の教育活動を行っている大学院、大学、短期大学、専門学校、高等学校はますます増加しております。会員の皆様がかかわったさまざまな教育実践の取り組みや学術的な研究の成果をぜひ、本学会の機関誌でご発表ください。

会員の皆様からの投稿を編集委員会一同、心からお待ちいたしております。また、編集委員会から原稿執筆などをお願いした際には、ご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

第 11 号の原稿締切日：2017 年 4 月 30 日（日）

原稿投稿先：投稿申込書 1 部と審査用原稿 1 部を PDF あるいはワードのファイルにて（PDF が望ましい）、本学会本部事務局（jimu@jsthe.org）にメールで送付。申込書は本学会ホームページからダウンロードください。

## 【編集人より】

ニューズレターでは、会員の皆さまから提供された観光ホスピタリティ教育の情報や書籍紹介を掲載しております。書籍紹介は、原則として本学会会員が執筆した発行から 2 年以内の書籍（定期刊行物を除く）を扱います。ぜひ、情報を編集人までお寄せ下さい。

編集・発行人 野口洋平（杏林大学）

E-Mail : noguchi@ks.kyorin-u.ac.jp

FAX : 0422-47-8077（大学共用）

